

今をときめく まちのあの人に 会いに行く vol. 21

町長 × 小寺 洋一さん

海田バイオマスパワー株式会社
代表取締役社長

エネルギーの未来を拓く 海田バイオマスパワー

町長: 今日、2017年に設立された海田バイオマスパワーの小寺社長とSDGsについて語れるということで、非常に楽しみです。まず、バイオマスというものについて教えていただけますか。

小寺: バイオマスとは『再生可能な生物由来の有機資源』を表す言葉で、廃棄物系バイオマス、未利用バイオマス、資源作物に大別され、安定的かつ継続的に量を確保することができ、さまざまな用途に使える万能エネルギーとして注目されています。海田バイオマスパワーでは、おもに広島県内産の未利用材などを活用した木質チップを燃料にして発電を行っています。

町長: 環境保全にも寄与する発電方法なんですね。

小寺: そうですね。まったくCO₂を出さないわけではないですが、燃料の原料となる樹木が吸収するCO₂と燃焼して発生するCO₂の総量が同じであることから、木質系バイオマスはカーボンニュートラルな燃料として低炭素社会の実現に貢献していると言えます。

町長: 環境負荷をかけずに電力の安定供給ができるのは素晴らしいですね。このような施設が海田町にできたことを大変心強く感じます。

広島県海田町にゆかりのある人を毎月ピックアップし、現在の活動や仕事内容から、海田町への思いまで深掘りしていきます。

1月号では、海田バイオマスパワー株式会社 代表取締役社長の小寺 洋一さんと、未来に通じる環境に配慮した資源の有効活用やこれから目指していきたい社会について町長と対談していただきました。



Profile

こでら・よういち／1985年「中国電力株式会社」に入社。経営企画を担当し、社内外で広く活躍する。2017年、「海田バイオマスパワー株式会社」設立時に手腕を見込まれ副社長に抜擢。現在は社長として会社を牽引し、バイオマス発電により持続可能な社会に貢献している。